NIE実践報告

1．タイトル：**☆算数で学習したことを新聞を使って発展させよう**

2．学校名

熊本県阿蘇郡南小国町立中原小学校

3．実践者名（代表者名）

島田　恵

4．学年

第3・4学年(複式学級)

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

算数(3年生10名・4年生3名)

6．単元（本時の学習課題）名

3年生「大きいしく仕組み」／4年生「がい数の表し方」

7．目標(狙い)

3年生「十万・百万・千万の数のしくみと千万の位までの読み方、書き方、構成を理解する。」
4年生「概数の意味を理解する。」

8．評価の視点

3年生　新聞の中から、千万までの数字を探し、2つ以上読んだり、書いたりできたか。
4年生　新聞にも概数が多く用いられていることを知り、概数を用いるよさに気づき用いようとしているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

3年生「大きい数のしくみ」(教科書教材:東京書籍)8時間
4年生「がい数の表し方」(教科書教材:東京書籍)7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

【3年生】
1　前時の復習をする。(5分)
2　千万までの位の構成を復習する。(10分)
3　適応問題をする。(10分)
4　新聞から千万の位までの数字を見つけて、書いたり、読んだりする。
5　見つけた数字を班で見せ合い、交流する。(18分)
6　今日の学習を4年生に伝える。(2分)

【4年生】
1　新聞から概数をみつける。(15分)
2　なぜ、「きっちりした数」がたくさんあるのかを考えあう。
3　考えを発表する。(10分)
4　およその数の表し方を考える。(15分)
5　適応問題をする。(3分)
6　今日の学習を3年生に伝える。(2分)

11．児童・生徒の反応、感想・意見

3年生:千万までの数字を書いてある新聞や記事、資料は少なく、漢字で書いてあるものが多かった。
4年生:新聞によって、同じ事柄でも数字が違うこともあった。災害などの記事で、死者などの数字は、どの新聞も概数にはしていなかった。

12．成果と課題

3年生:数字で書いてあるものを、位を考えて読ませたかったが、新聞のチェックが不足してしまい、桁数が多くなるほど、子どもたちは、新聞の中に記載されている数字からはなかなか見つけることができず、十分な学習効果が上がらなかった。
4年生:新聞が、その記載した数字で伝えたいことは何なのか、自分に伝わってくる「1」という数の重さを考えたり、話し合ったりすることができ、人に伝える時の数や数字の重要性について、一人一人の子どもたちがしっかり考えることができ、たいへんよかった。